

日本大学
広 報

編集・発行 日本大学広報部広報課 購読料 年間1,000円(送料共)
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 電話 03(5275)8132 直通
<http://www.nihon-u.ac.jp>

佐藤正弘監事が
防災検定協顧問に



佐藤監事

本学の佐藤正弘監事がこのほど、「ジュニア防災検定」を実施する一般財団法人「防災検定協会」の顧問に就任した。検定への参加で付属高校・中学の生徒にも、防災や危機管理への意識を持ってほしいと佐藤監事は期待する。

東日本大震災では多くの子どもたちが巨大津波にのまれるなどして命を落とした。佐藤監事は、悲劇を二度と起こさないた

めには、教育現場で防災意識を高める必要がある。防災は、危機管理の

新学部をつくる本学としては、全学で取り組むべきテーマ」と語る。

高まる防災意識

付属中でジュニア検定を受検



東日本大震災から3年が経過した。悲惨な経緯に学ぼうと、資格認定団体が行う検定制度を活用して、生徒の防災意識を

高める取り組みが本学付属中学で始まっている。この制度は、内閣府が後援する防災検定協会のジュニア防災検定。第1回検定テストが昨年12月に行われ、豊山中、佐野中等の、いずれも1年生が受検し、全員が合格した。中でも優秀な成績を収めた豊山2人、佐野1人の生徒が、都内で2月2日に開かれた合格証授与式に招かれ、同協会の平野啓子理事長（元NHKキャスター）から賞状を渡された。写真。

検定は単に知識を問うテストだけでなく、その前後にもクリアすべき課題を提示。三つのステップを踏んで、「自ら考え行動する防災力」を身につけてもらうのが狙いだ。

事前課題は「わが家の防災対策」などのテーマで、両親やきょうだいらと話し合う。事後課題は防災マップ作成や防災作文などで、検定後に指示される。

日大中も今年1月、1年生約240人全員が受検した。同校は定期的に避難訓練や救命救急訓練を実施。検定受検により保護者へも、防災について考えてもらうことにした。